

# 教育委員会執行事務の点検と評価

平成29年度

平成30年8月

智頭町教育委員会

# 目 次

1. はじめに … P 1
2. 平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点  
… P 2～P 20
3. 教育委員会の活動状況
  - (1) 教育委員の在任状況 … P 21
  - (2) 教育委員会の会議の状況 … P 22
4. 附属機関の開催状況 … P 23
5. 参考資料 … P 24

## 1. はじめに

教育委員会では、今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、教育委員会の事務・事業の点検・評価を行いました。

### 趣旨

平成20年4月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、議会に提出するとともに、公表しなければならない。」旨が規定されました。

これに基づき、智頭町教育委員会では、平成19年度から具体的な施策や主要な事業について、点検及び評価を実施することとしました。

今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政施策の効果的な推進を図りたいと考えています。

### 実施方法

智頭町教育ビジョン及び智頭町子ども子育て支援事業計画に基づく前年度の具体的な施策及び主要事業を対象として、年1回の点検及び評価を実施しました。

点検及び評価は、前年度の事業等の実施状況を報告するとともに、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、町教育委員会において点検及び評価を実施しました。

点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた事業評価書を智頭町議会へ提出するとともに、公表することとします。

### 根拠法令

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号)第27条(一部省略)

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《次世代育成事業》</p> <p>子育て支援センターの運営充実</p>	<p>子育て環境づくりを進めるため、子育て支援センターの運営を充実します。</p> <p>子育て講演会の開催 講座の開催 子育て相談 子育てサークルの育成 父親の子育て参加を促進</p>	<p>○</p>	<p>*月曜日から金曜日まで毎日開所し、乳幼児と保護者が共にゆったりと穏やかに過ごせる環境づくりに努めました。(年間延べ4,060名の利用者)</p> <p>*月1回『土曜開所』を行い、休日に親子がゆつくりと過ごせる居場所づくりに努めました。父親の育児参加を促しましたが、父親の利用は44名に留まっています。</p> <p>*子育てママサークルと連携し、保護者主体の活動により子育て仲間同士のつながりを深めました。</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*休日(土曜)開所日にイベントを企画することで、父親の育児参画と利用しやすい環境づくりを促します。また、利用促進に繋がるPRが必要で す。 *年齢に沿った環境づくりが不十分です。工夫をしながら異年齢児が楽しめる場所づくりを行います。 *自然や季節感を取り入れた遊びにも工夫します。 *保護者の子育て相談や困り感に寄り添い、的確にアドバイスのできる関係づくりを行います。 *子どもの発達や遊び、環境づくりなど、必要なスキルアップのための職員研修を行います。</p>
<p>ファミリーサポートセンター推進事業</p>	<p>会員の増加、利用件数の促進、働く人のサポートのため、利用しやすいシステムづくりの構築を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>*保育園・塾への送迎が最も多い支援でしたが、食事つきの利用が増え働くお母さんの支援の必要性を感じました。(夕食等が保育園の給食と重ならないよう保育園との連携も行いました。)</p> <p>年間利用件数200件・会員数154名 (依頼会員107名・支援会員47名・両方会員7名)</p> <p>*会員研修4回を計画しましたが参加者は少なく内容・周知の方法に工夫が必要です。</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*会員の整理をし会員数は減りましたが、支援内容に適した人材のコーディネートをしていきます。そのためにも支援会員の勧誘を行っていきます。 *利用会員には子ども様子を事前に記入してもらっていただきますが、利用の有無に関わらず毎年更新してもらい周知します。 *会員研修を周知し参加を呼びかけると共に、適切な支援が行えるようにします。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題・問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>放課後児童クラブの設置運営</p>	<p>保護者の就労保障と子ども居場所づくりを支援します。児童の自主的な活動を促し、異学年の集団の中で養われる社会性や健全な心身の発育形成の一助とします。</p>	<p>○</p>	<p>*旧諏訪保育園を改修し、活動拠点を移しました。                  *児童クラブ保護者説明会（計4回）                  *指導員研修会（計4回）                  *野外活動                  （夏休みクッキング・クリスマス会・老人クラブとの交流会・6年生とのお別れ会・智頭と土師のクラブ間交流会）                  *指導員との話し合いを重ね、指導員としての価値観と児童への寄り添い方を共有化しました。</p> <p>【登録児童数】 H29.08.01時点                  智頭：82人 土師：39人</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*施設改修及び移転により、屋内の学習・憩いの時間や園庭での遊びが確保され、児童の満足度が大幅に上がりました。                  *土師クラブは保護者との連携が強化したが、智頭クラブは保護者会の開設・運営が困難であり、2組織で関係性に偏りがあります。                  *児童の安全確保と育成のため、指導員のスキルアップ研修が必要です。                  *夏休み期間は利用ニーズが増えるため、臨時指導員を募集するが、確保が困難です。                  *児童の個性や発達障がいなど、個々の特性を理解した対応が必要となるため、小学校との連携を図り、発達に合わせたきめ細やかな対応が必要となります。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>育児支援家庭訪問事業</p>	<p>未就園児家庭の訪問等を通じて、育児支援が必要な家庭に対し、子育て経験者等による育児相談、家庭援助を行います。</p>	<p>○</p>	<p>*未就園児の全家庭を訪問し、養育支援を行いました。                  *家庭訪問回数89回（内赤ちゃん訪問17家庭）                  *町の支援・施策についての紹介や子育て情報を提供しました。</p>	<p>*子育て不安のある家庭に対し、支援の方法について関係者（保健師・医療関係・支援センター等）と連携を強化します。                  *乳児健診や離乳食講習会を利用して子育て支援センターへの利用を促し、孤独な子育てにならないよう配慮します。</p>
<p>家庭支援推進保育</p>	<p>就学前までの育ちや見通しを立て、児童の健全な発育を目指します。</p>	<p>△</p>	<p>*懇談会や研修を計画し、担任保育士や特別支援教育コーディネーター等と連携をとりながら、発達支援・保護者支援を行いました。                  *家庭訪問などの実施ができませんでした。</p>	<p>*家庭支援推進保育士は、重要な職務ですが、業務なので家庭の中に入り込んで支援することが難しい状況にあります。</p>
<p>森のようちえん事業</p>	<p>鳥取県の認証を受け、豊かな森林を活用して自然環境を中心とした自然保育の中で、幼児期の健やかな育成を進めている森のようちえん事業を支援します。</p>	<p>○</p>	<p>*児童1人当たりの月額単価により、まるたんぼとすとぎぼっくりの運営を支援しました。                  *第2子以降保育料軽減事業により保護者負担軽減に努めました。</p>	<p>*森のようちえんととのさらなる連携を図り、問い合わせなどにスムーズな対応ができるよう努めます。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
ちづ保育園 保育事業	子どもたちの持っている力を活かしながら、望ましい未来をつくり出す力の基礎の育成のため、養護と教育を一体的に行います。	○	<p>以下の職員を配置し保育しました。</p> <p>0歳児 14名 担当保育士6名(内臨時保育士3名,補佐1名) 1歳児 28名 担当保育士8名(内臨時保育士4名,補佐1名) 2歳児 34名 担当保育士8名(内臨時保育士3名,補佐1名,障害児加配1名) 3歳児 41名 担当保育士4名(内補佐1名) 4歳児 47名 担当保育士3名(内補佐1名) 5歳児 43名 担当保育士4名(内補佐1名,障害児加配1名) 合計 園児207名</p>	<p>* 智頭町保育園の一園化に伴い、0歳児から5歳児までを受け入れるちづ保育園が開園しました。(定員200名)新しい環境の中で、安全・安心をいつも意識においた保育を行いました。 * 保育園完成がぎりぎりという事もあり、新しい環境へのスムーズな移行に課題はありました。 * 低年齢児の入園増加に伴う、保育士(有資格者)の確保が課題です。 * また、保護者との信頼関係、理解と協力・職員との連携で就学前の子どもの発達保障及び家庭支援等、よりよい保育内容を創造していくことが課題です。</p>
		○	<p>* 年間計画に基づく園内研修・公開保育・食育研修・その他専門性を高める研修会に積極的に参加し保育実践につながる保育内容の創造に努めました。 * 保育計画・食育計画のもとに、臨時職員と保育士を統一し、子ども一人ひとりの発達に合わせた保育環境を整え、保育の質を高めていきました。 * 全職員での園内保育研修・同和問題研修などを実施し、人権感覚を高めるよう努めました。 * 新園舎での整った環境の中で、主体的な発達要求に応答できるよう、保育の資質向上を図り、発達過程に合わせた保育の充実を努めました。</p>	<p>* あらゆる研修情報を提供すると同時に、保育の専門性を高める研修・資質向上の機会を作り、年齢別に臨時職員も含め子ども達の発達に応じた研修を深めてきました。外部研修会には、時間的、人員的に難しいことがあるため、研修体制を整えることが課題です。 * 研修を積み重ねるだけでなく実践に移し、保育の質を高めていくことが必要で、自己評価を基に保育内容を向上させることが課題です。また、職員数も多くなり研修内容の共有が持ちにくくなった面があるので、報告等職員間での情報共有の場を設けるようにしました。共に高まり合う事が課題です。</p>

	<p>家庭・地域とも連携しながら、小学校への望ましい接続を図ります。</p>	△	<p>*保育園・小学校の連絡会を開催し、育ちと学びをつなぐ接続を図りました。特に、支援を必要とする児童に対しては、小学校・保育園・保護者がきめ細かく情報を共有し共通理解に努めました。 *保育を公開する機会を設け、小学校及び家庭の理解を得ると同時に、地域の要請に就いて交流を深めました。</p>	<p>*小学校との交流・連携を図ると共に、情報共有をしています。保・小連携夏季公開保育では、保育参観・体験を通して就学前の育ちを公開し、保育園での活動が小学校へどうつながっているのか連携を深めました。後半は、学校生活への適応を意識しながら保育活動を実践していく必要があると思われまます。 *アプリカーキラムとスタートカーキラムの接続等、指導主事との連携を図り、保小の連携強化につなげていくことが課題です。</p>
<p>ちづ保育園 家庭支援事業</p>	<p>保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮しながら、望ましい子育てを支援します。</p>	○	<p>*同和保育を理解し、人権意識を高める職員研修を実施しました。 *園児一人ひとりの生活とその背景を把握し、保護者の思いにより添った信頼関係の構築、育児支援の推進を目指しました。</p>	<p>*全職員対象の同和問題研修会を計画的に実施しました。 *3歳未満児は家庭訪問を主に、3歳以上児はクラス懇談の他、年2回の個人懇談を実施し、保護者とのより良い関係作りをしていきながら、信頼関係を築き、育児に対する不安など、より適切な育児支援ができるような職員の対応が必要（課題）です。</p>
<p>ちづ保育園 病児・病後児保育事業</p>	<p>一人ひとりの全面発達を保障します。</p>	○	<p>*職員間の共通理解を図り、家庭とも連携しながら、必要な支援・発達を促す有効な保育内容を創造して実施しました。 *発達に関する研修と実践を重ねながら、専門機関と連携し、支援を展開しました。</p>	<p>*園児が安定して過ごせるよう、支援を必要とする園児等について、早期支援教育コーディネーターに指導助言を受けながら、園全体で取り組み実践を重ねました。今後、個々の実態に合わせた定期的な指導助言が必要であり、保護者理解について課題です。</p>
<p>ちづ保育園 病児・病後児保育事業</p>	<p>病児又は病氣回復期の園児を保育（看護）することで、保護者の子育てと就労の両方を支援します。</p>	◎	<p>*看護師1名を配置し、智頭病院小児科の受診で集団保育が適さないと診断された病児又は病氣回復期の園児を保育（看護）し延べ人数312人の利用がありました。3歳以上児の子どもの利用が増加しました。</p>	<p>*年間通して利用者が多く、専任の看護師だけで対応できない場合は他の職員で対応をいたしました。利用希望の多い日は対応し切れない日もありました。小児科医の協力及び連携が課題です。</p>
<p>ちづ保育園 一時預かり保育事業</p>	<p>未就園児を預かり、子育ての負担軽減を図るなど子育ての支援を図ります。</p>	◎	<p>*保育士1名を配置し、一時的に保育園に預けることを必要とされた未就園児を保育しました。 *今年度の新規登録人数13名、利用人数は14名。年間延べ利用人数36名利用合計日数は205日でした。</p>	<p>*3歳以上児は、同学年のクラスで受け入れクラスを固定したことで、親子共に安心して利用してもらえまました。行事等と重なり、受け入れ困難な日も、保護者の理解を得て調整できました。</p>



平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《小中学校教育の充実》</p> <p>智頭町学力向上推進事業</p>	<p>学校、家庭、地域や関係機関が連携連携し児童生徒の指導にあたります。</p>	<p>◎</p>	<p>智頭町小学生英会話教室を開催し、国際感覚豊かな人材の育成や、土曜日における教育環境の充実をめざしています。今年度は2人のネイティブスピーカー（智頭町ALSIT、西栗倉村在住カナダ人）に年間とおして英会話レッスンを開催していただきました。昨年まで「3・4年生」「5・6年生」としていた参加対象を「1～4年生」「5・6年生」へ広げました。また、「1～4年生」は、月に2回の開催としました。レッスンを重ねる中で、英語や外国人の方とのコミュニケーションについて、気後れすることなく積極的に関わることが見られています。</p> <p>＊授業力アップ研修会が現場教師には好評です。今年度は京都府木津川市より現職の小学校教諭をお招きし、新学習指導要領実施に向けて「思考ツールを活用したアクティブ・ラーニング型授業」について模擬授業をとおした研修を開催しました。</p>	<p>＊新たな地域人材やALSITの活用により、開催回数、参加児童数は増加しました。講師の二人はとても魅力的な人柄で、子どもたちに英語によるコミュニケーションの楽しさを感じさせてくださいました。残念ながら次年度以降の講師の継続というこちらの願いは叶いませんでした。新たな地域人材、9月で交代する新規ALSITの有効活用図りたいと思います。</p> <p>＊智頭町独自である授業力アップ研修会により、教師の授業力向上と児童生徒の学力向上を図りたいと考えます。一流の専門家や現場での豊かな実践を持つ講師を招き、具体的指導が受けられる体制を続けたいと考えます。</p> <p>＊全国的な情報と、新しい取り組みを肌で感じる手段の構築が求められます。</p>
<p>指導主事の設置</p>	<p>0歳から15歳を見通した教育の推進、小・中学校教育の充実、家庭教育の推進を図るため事務局に専門的な知識と技能を有する指導主事を設置し、学力指導も含めその推進・充実を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>＊主に学力向上や生活習慣の改善、保小中連携を推進するため、各学校園、専門部会等での指導助言を行うとともに、幅広い分野で学校支援をしています。今年度は「国語」を中心としながら小中学校教員がお互いの授業を公開、参観しあうなど、学力向上へ向けて小中学校の教員が一体となった取り組みが進んでいます。</p>	<p>＊保小中の連携や一貫した取り組み強化が求められています。智頭教育会との連携で、保小、小中の交流をさらに進めたいと考えます。</p> <p>＊「とつとりの授業改革【100の視点】」をもちに、学校での授業力向上を具体化し、恵まれたICT環境を生かしながら、小中学校の学びを中学校につなげることで、児童生徒の学力が向上するよう努めたいと考えます。</p> <p>＊改訂智頭町教育ビジョンの内容を実施でき、学校現場でその周知をさらに図る段階をめざします。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
マイクログラス等管理事業	学校教育や各種団体活動への移動手段としてマイクログラスによる支援を行います。	○	*学校教育の支援と、教育関係団体の研修等への活用が増加するなど、効果が発揮できました。	*適切な維持管理を行い、幅広く活用できるようにしていきます。 *特に校外学習で活用されています。
小学校管理事業	児童及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理と、教育環境の整備を行います。	○	*智頭小学校の施設の維持管理を行いました。 *学校現業職員を配置しました。	*智頭小学校について教育施設としての機能を維持していきます。
小学校教育振興事業	「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、生活習慣の確立を図り、児童一人ひとりを大切にされた教育活動を行います。	○	*通学費、修学旅行費などの補助や準要保護児童への援助を行い、保護者の負担軽減を行いました。また、ICT機器を整備し学習への活用を図りました。 *学校司書、特別支援教育支援員を配置し個々の学習にあった体制整備を図りました。	*継続して、生活習慣の確立と学力の保障を行っていく必要があります。
学習支援・生活支援員の設置	小学校の就学の際し、学習・生活に支援が必要な児童のため支援員を配置します。	◎	*智頭小学校特別支援学級を中心に7名の支援員を配置し、学習支援の充実を図りました。通常学級での支援を要する児童にも、適切に対応することができました。	*通常学級も含め支援が必要な児童が増加する傾向にあります。今後も支援の必要な状況を見極めながら、適切に対応するよう努めます。
特別支援教育総合推進事業	早期支援コーディネーターを配置し、支援が必要な幼児児童生徒へ早期に関わりを持ち、継続した支援を行う活動を行います。	◎	*早期支援コーディネーターを配置し、のびっこ相談や保育園、小中学校の定期訪問とおし、支援の必要な児童生徒への早期の関わりにより、その後の学習や生活への適切な対応に結び付ける活動を実施しました。	*専門知識を有する支援コーディネーターの活用により、保護者からの相談受け付けや情報提供がスムーズに行われています。現場の教職員の更なる資質向上に結びつく事業としていきます。ちづ保育園に一園化されたため、保育園での支援や活動を効果的に実施していく必要があります。

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
創造的な学習支援事業	総合的な学習や体験的な学習の充実を図ることにより、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、進んで本町に関わる子どもを育てていきます。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各地域の歴史文化をはじめとして特色を学び、郷土愛を醸成することができました。</li> <li>*地域内講師（ゲストティーチャー）による民芸や米作りなど独自の学習を実践しました。</li> <li>*地域の次代を担う子どもたちの育成が図れました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*小学校では、地域の人材活用をさらに進めることで、新たな学校風土が築き上げられることが期待されます。</li> <li>*中学校では、キャリア教育との視点から、地域とつながりのある活動が引き続き行われていきますが、年度ごとに取組が継続されるような方策が必要です。</li> </ul>
小学校同和教育研究事業	差別に気づき、差別を見逃さな い、差別に負けない、人の痛み のわかる児童の育成と人権を尊 重する教育の充実を図ります。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地区学習会を開催しました。</li> <li>*学習のみならず、生活習慣や差別のない社会を目指し、差別に負けない学習が展開されました。</li> <li>*同和教育のみならず、広く人権に関わる問題についても学んでいきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地区学習会事業以外にも、総合的な学習や学校行事など、人権について学べる機会をさらに増やすようにしていきます。</li> </ul>
中学校管理事業	生徒及び教職員の活動の場として 学校施設の維持管理を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*適切な管理により長期運用をめざします。</li> <li>*学校現業職員、学校司書を配置しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育施設としての機能を維持していきま す。</li> </ul>
中学校教育振興事業	「生きる力」の育成と人間性を 育む「心の教育」を行い、基礎 基本を徹底させ、生徒一人ひと りを大切にしたい教育を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域の講師を招聘し、茶華道・野球の部活の活性化を図りました。</li> <li>*教育の機会均等を図るため、通学費、修学旅行費、特別支援学校への通学費等の支援制度で生徒と保護者負担の軽減を図っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自立心と自立的な態度が育つように、生徒の実態に応じた効率的な教育活動を支援していきま す。</li> <li>*やさしさでたくましさも兼ね備えた生徒を育成するため、教職員の授業力の向上をめざ します。</li> </ul>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>外国語指導助手招致事業</p>	<p>児童・生徒が生きた外国語に直 接ふれることにより、興味と関 心を持ち国際理解と学習意欲の 向上につなげます。</p>	<p>◎</p>	<p>*中学校と小学校を担当するALTを配置し ました。 *中学生においては、英語の授業をとおし、 英会話を習得し、確実な英語力と、国際化時 代に対応した異文化の知識も向上しました。 *小学生は、国際化時代に対応した外国語活 動を実施するとともに、1～4年生との交流 の時間を増やしました。</p>	<p>*小学校5・6年生の外国語科、小学校3・ 4年生への外国語活動導入も見据え、時間増 に対応できるように、2名体制となるALTの 有効活用を図ります。 *保育園への訪問も、計画的に実施したいと 考えます。</p>
<p>スクールソーシャルワーカー 活用事業</p>	<p>生き生きと勉強や各種活動に取 り組む児童生徒の育成と、問題 行動解決につなげます。</p>	<p>○</p>	<p>*児童生徒の問題行動やストレス、不安を解 消するためスクールカウンセラーとスクール ソーシャルワーカーの勤務日と勤務校を揃 え、児童生徒の心の安らぎもたらされるよ うにしています。 *不登校生徒への支援も行い、一定程度状況 の改善も見られました。</p>	<p>*スクールソーシャルワーカーやスクールカ ウンセラーと学校の連携、家庭とのかわわり が期待されます。</p>
<p>地域に学ぶワクワクくちつ事業</p>	<p>職場体験活動を通して地域社会 に学び自らの進路について主体 的に考える人間形成の場としま す。</p>	<p>◎</p>	<p>*2年生が3日間にわたり町内の31事業所 で職場体験を行いました。仕事の厳しさや、 将来の夢を見つめる機会となり、キャ リア教育の推進となりました。</p>	<p>*協力していただけたら事業所の確保を今後も 進めていきます。 *キャリア教育の視点から将来の夢や希望と なるよう実施前後での十分な準備と活かせ る工夫をします。</p>
<p>中学校同和教育研究事業</p>	<p>差別に気づき、差別に負けな い、人の痛みをわかる生徒の育 成と人権を尊重する教育の充実 を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>*生徒の身の回りの生活改善はもとより、差 別のない社会の実現を図るため、学習に加え て基本的な生活習慣確立や人権問題を考える機 会となっております。</p>	<p>*小学校での学びの上に立ち、中学校での人 権学習での学びが、生徒の生きる力となるよ う、また日常生活の中で実践化されるよう 支援してまいります。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
《社会教育の充実》 社会教育委員	社会教育の振興を図るために社会教育委員会を開催します。	△	*社会教育委員会を開催。 *新智頭図書館及び重要文化的景観「智頭の林業景観」について説明しました。	*各委員の活動をおとして社会教育の活性化を図ることを共通認識としています。 *委員会を今後定期開催していく必要があります。
文化財保護事業	町内文化財の調査・研究を通じて、町内に点在する文化財の掘り起こしと保護と活用を図ります。	△	*町内文化財の掘り起こしと調査研究を行いました。 *重要文化的景観「智頭の林業景観」の選定申請を行い、選定告示されました。	*無形文化財の掘り起こしも地域と連携して進めたいと考えます。 *未開催である審議会の委員を選出し、今後開催していく必要があります。
文化振興事業	町民の文化意識の高揚と地域文化の振興を図るため、文化協会並びに協会加盟団体の活動支援と智頭町文化祭など各種文化事業を推進します。	○	*智頭町文化祭 延べ来場者数435人 内訳：展示の部 10/28(土)・29(日) 200人 前夜祭ライブ 11/11(土)55人 芸能の部 11/12(日)180人 *第20回ふれあいコンサート3/11(日)170人 *智頭町文化協会(20団体)及び各種文化活動の支援	*町内文化事業の担い手の高齢化が進み、熟練の域にある一方、若年世代の参加・継承等が課題です。 *文化祭は智頭町文化協会への委託事業です。文化祭のあり方を再検討し、町民への作品展示・芸能発表はもとより、他団体の作品・芸能の認め合いと掘り起こしが必要と見られます。 *補助事業であるふれあいコンサートは、良質な音楽を町民に提供するという趣旨をふまえ、今後も幅広いジャンルのアーティストを招へいしていきます。
町成人式	町の将来を担う新成人者を町を挙げて祝福し、成人の自覚と町への愛着を醸成します。	○	*新成人等で構成した実行委員の企画による「智頭町成人式」を開催しました。式典終了後に実行委員(新成人)の進行で祝賀会を開催しました。 平成30年1月7日開催…参加者数55人	*対象新成人の自主的な企画による成人式を今後も継続しつつ、成人者としての自覚を持てる企画を来年度に向けて検討します。
社会教育事業 (婦人団体・青少年の育成)	婦人団体の活動支援と青少年育成推進指導員協議会を通じた育成事業などを実施し、青少年の健全な育成を推進します。	○	*智頭町青少年育成推進指導員協議会(15人)の委託事業 サマーカーンプ(船上山少年自然の家)29人 夏・冬子どもおやつ作り教室(ほのほの)53人 チャレンジ教室(智頭町総合センター)9人 新春書き初め大会(智頭町総合センター)37人参加 *このほか、町連合婦人会、婦人団体連絡協議会、杉の子塾の活動費補助を行いました。	*杉の子塾を含めた町内の青少年育成団体との事業連携・調整を図ります。

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>家庭教育学級事業</p>	<p>社会環境の変化により地域のつながりや希薄となり、家庭・地域の教育力が低下する中で、国の支援事業を活用して家庭教育の学習機会を提供します。</p>	<p>○</p>	<p>「機関紙ひだまり」を作成し、テーマ等を変えながら保・小・中学校の各家庭に配布しました。                      *関係機関で参観日等を活用し、家庭教育学級(PTA研修会等3回)を開催しました。                      *隣岐國学習センター長を講師に招き「家庭教育講演会」を開催しました。参加者数82人(うち中学生11人)</p>	<p>*家庭教育については、保護者への粘り強い啓発が必要で、特に講演会・研修会等へ参加しない人への働きかけが課題となっています。</p>
<p>遺跡発掘事業</p>	<p>埋蔵文化財の保護と智頭枕田遺跡の調査・研究・活用を行います。</p>	<p>○</p>	<p>*町内開発計画への対応を行いました。                      *土器づくり教室・文化祭への展示、土師公民館祭への出店を行い、町民理解に努めました。                      *智頭町埋蔵文化財センターで智頭枕田遺跡出土品の展示、綾木長之助の展示を行いました。</p>	<p>*先人の記録である「遺跡」の価値を現在の智頭町民に正しく伝えるために、研究(ハード)と展示や体験などの活用(ソフト)をバランス良く行うっていくことが重要です。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
地区公民館事業	地域における生涯学習・文化・スポーツ活動等の地域活動拠点施設として、住民主体の地域づくり運動の充実をめざします。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地区公民館活動の運営を委託し、地区住民の社会教育活動等の事業を実施しました。</li> <li>*委託料4,893千円 総事業費26,902千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*老朽化等による施設の修繕が緊急の課題である。</li> <li>*中央公民館との連携、地区振興協議会との協働を通じて、幅広い社会教育活動の展開が求められている。</li> </ul>
歴史の道整備活用推進事業	平成8年に文化庁から「歴史の道百選」に選定された智頭の往來を整備すると共に保存・活用します。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*史跡智頭往來志戸坂峠越保存修理工事をしました。</li> <li>総事業費11,697千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*整備計画を見直し、国史跡として全線指定されるよう努めます。</li> <li>*国史跡指定を契機に、観光交流の視点でも活用することが必要です。</li> <li>*岡山県西粟倉村との連携が必要と考えます。</li> </ul>
板井原集落整備活用推進事業	板井原集落を「伝統的建造物群保存地区」(鳥取県選定)として保存計画に基づいた修理事業と活用事業を行います。	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>*集落内建築物3棟の改修を助成し、景観保全を図りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*継続的に集落の景観保全を図るとともに、集落保存協議会と連携した地域振興事業を行う必要があります。*特に開発事業との調整は今後とも注意を払う必要があります。</li> <li>*国の選定をめざします。</li> </ul>
石谷邸保存活用整備事業	一般財団法人因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託し、文化財としての観光拠点施設として管理運営を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*石谷家住宅の管理運営を引き続き一般財団法人因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託しています。</li> <li>委託料 9,246千円</li> <li>入館者実績 H29・22,892人</li> <li>*県指定名勝である石谷氏庭園の維持管理を行いながら、年2回の庭園特別公開を通じて情報発信に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*管頭宿のまちづくり拠点施設として積極的に関わることが必要です。</li> <li>*平成13年の一般公開から随所に補修箇所が見られることから、計画的な維持管理が必要です。</li> </ul>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《社会体育の充実》</p> <p>スポーツ推進委員</p>	<p>各地区から選出された18名で構成されるスポーツ推進委員により、町民力づくり事業の普及・振興と町体育事業への参画及び推進委員としての資質向上のための県内体育事業等へ参加します。</p>	<p>○</p>	<p>*中国地区スポーツ推進委員研究大会に3名参加しました。(開催：山口県岩国)</p> <p>*上記の他、智頭町体育協会、スポねっとちづの主催する事業、また民泊マラソンにも役員として参画しました。</p>	<p>*町の体育事業への参加はもちろんです。スポーツ推進委員としての具体的な活動内容を考え、積極的に体育振興の充実を図る主体となることが求められます。</p> <p>*スポーツ推進委員としての役割を明確化し、共有することで、めざすビジョンを明らかにする必要があります。</p>
<p>体育振興事業</p>	<p>智頭町体育協会を中心に町民の健康づくりや生涯スポーツ活動に寄与する体育事業を展開します。またスポねっとちづは、運動能力の向上や仲間づくり、他者への思いやりの心を育むことを目標にスポーツ普及を推進します。</p>	<p>○</p>	<p>*体育協会への活動支援による各種スポーツ大会等を実施しました。(町民体育祭、ハレスポーツ大会、ランドゴルフ大会等) 団体数：8</p> <p>*総合型地域スポーツクラブ”スポねっとちづ”への活動支援によるスポーツ環境の整備拡充を図りました。(クラブ数：8) 会員数：162名</p> <p>*studio do-hipから講師を招き、ダンス教室を開催しました。(参加者：80名)</p> <p>*トランプアスリート育成支援事業奨励金を、17件(延べ11名)に対し850千円を交付しました。</p>	<p>*体育振興をより活性化させるため、町内の体育関係団体の連携を密にし、それぞれが協力をしあって活動する必要性があります。</p>
<p>体育施設管理事業</p>	<p>スポーツ活動や健康づくりの場となる体育施設の適正な管理と環境整備を進めます。</p>	<p>○</p>	<p>*各体育施設の維持管理を行っています。</p> <p>*智頭温水プールの管理運営を(株)エヌ・エス・アイへ指定管理委託しています。</p> <p>委託料 18,342千円</p> <p>*智頭温水プールの空調更新他改修工事など、修繕事業を行いました。</p>	<p>*町の中核体育館として、勤労者体育館を様々な年代、性別、障がいの有無にかかわらず使用していただけによるような体育館として整備を進めることが必要です。</p>



平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題・問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《図書館事業》</p> <p>図書館</p>	<p>図書館サービスを充実させ、個人の利用を増やします。また、保育園や学校へのサービスにも努力します。</p> <p>目標…貸出冊数 49,000冊</p>	◎	<p>*カウンタ―業務を中心にしながら、保育園図書室、学校図書館等を支援し、団体への貸出の搬送もしています。</p> <p>利用登録者数…個人4,053名(新規151名)、団体170団体</p> <p>貸出冊数…55,695冊(個人41,789冊、団体13,787冊)</p> <p>リクエスト件数…4,194件</p> <p>シェアレンス件数…488件</p> <p>学校図書館・保育園支援回数…延べ135回</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*貸出冊数は年々増加していますが、一人でも多くの住民に図書館サービスを知らせ、利用してもらおうことが大きな課題です。</p> <p>*学校図書館や保育園図書室の読書環境の整備により、公共図書館を利用する子どもが増えています。それによって一緒に来館する家族の積極的な利用につながるよう取り組んでいきます。</p>
<p>おはなし会事業</p>	<p>読書への入り口として、幅広く参加してもらえようとおはなし会を開催します。</p> <p>目標…参加人数 900人</p>	◎	<p>*子育て支援センター、福祉課栄養士等との協力による定例おはなし会や小学校他への出張おはなし会、季節のおはなし会を実施しました。</p> <p>&lt;実施回数&gt;定例おはなし会12回、季節のおはなし会4回、出張おはなし会41回</p> <p>&lt;参加人数&gt;定例おはなし会106人、季節のおはなし会80人、出張おはなし会993人</p> <p>合計1,179人</p>	<p>*定例おはなし会の参加人数が減少していますので、子育て世代の興味や関心を高める工夫をしていきます。</p> <p>*おはなし会の参加人数は全体では昨年度より増加していますが、家庭での読みかきや読書活動につながる取り組みになっっているかが課題です。</p> <p>*学校でのおはなし会では、ブックトークなど、読書意欲の育成に効果のある内容に取り組んでいきます。</p>
<p>ブックスタート</p>	<p>ブックスタートが家庭での読みかきにつなげるよう、啓発を工夫していきます。</p>	○	<p>*対象者に絵本を手渡し、読みかきせやわらべうたであれあいの時間を持つよう奨めています。対象者…35名</p> <p>*フアロ―事業として実施しているおはなし会は、未入园児の減少もあり参加者が減っています。</p>	<p>*若い保護者に、乳幼児に対するメディアの影響やわらべうたの効用などを伝えたい。子育て支援センターとの連携を強くし、保護者が子どもとともに絵本に出会えるような会の開催を検討します。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
子どもと本を知る講座	子どもに関わる全ての大人に、子どもと本に対する関心や知識を深め、読書の意義を理解していただきます。 目標…講座参加人数 100人	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>*保育園、子育て支援センターとの連携で実施しました。 講座回数…2回、参加人数…76人</li> <li>*「わらわらうたを楽しむ」講師：脇本幸子氏（岡山わらわらうたの会代表） 2月21日 子育て支援センター 43人</li> <li>ちづ保育園保護者研修会 33人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*学校の参観日の研修などと連携し、できるだけ忙しい子育て世代が参加しやすいように、学校教育担当者や家庭教育担当者との協力体制を深めていきます。</li> <li>*保護者の読書や図書館への関心を高める目的で実施していますが、対象はほとんどと入れ替わっていくため、継続した取り組みが必要でです。</li> </ul>
図書館まつり事業	図書館を身近に感じ、親しみをもち、読むことを目的に開催します。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*子ども司書体験教室では子ども司書会議を実施し子どもたちの目線で、図書館について考える機会を持ちました。参加人数…のべ30人（1日目16人、2日目14人）</li> <li>*図書館まつり2017で、「ソーマキューブ」組み立て王グランプリ「智頭歴史トラップ・将棋・囲碁・オセロ」対決「智頭図書館クイズラリー」「おりがみランド」コーナー設置しました。また、智頭図書館を考える会の協力でバザーを実施し、盛り上げてもらいました。参加人数…のべ208人</li> <li>*人形劇 参加人数 103人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*図書館に関心を持ってもらうために、さまざまなイベントを実施します。</li> <li>*人形劇は毎回昔話を題材にした作品を上演しています。</li> </ul>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>あたまイキイキ音読教室 音読出前講座</p>	<p>高齢社会の中で、住民の「健康長寿」を応援することを目指し、図書館や地域で音読事業を実施します。</p>	◎	<p>*あたまイキイキ音読教室 開催12回 参加人数のべ100人 毎回10名前後の参加者があり、定着しています。 *音読出前講座 開催12回 参加人数のべ175人 今年度はテキストサービス施設等の利用が多く、テキストを保管し日々使用している団体があるようです。</p>	<p>*まだ音読を体験していないグループに、日常の健康づくりのヒントとして活用を呼びかけていきます。</p>
<p>連携講座・講演事業 他</p>	<p>他の機関と連携し、講座・講演会などを企画し開催します。</p>	○	<p>*自由研究おたすけ教室 18人 夏休み自由研究の進め方や（教育委員会指導主事協力）、自由研究に必要な資料相談、貸出を行い子どもたちの助けとなる教師を開催した。 *スタンブラリー 211人 1冊本を借りることにスタンブカードに1個スタンプを押し、スタンプが10個集まったらくじを引いてもらい、プレゼントが当たるスタンブラリーを実施した。</p>	<p>*他の機関との連携により、新たな利用者の開拓や、図書館への理解に繋がっていきますので、今後も連携の対象を拡げていきます。 *日常の図書利用にも楽しみを加える事業を計画していきます。</p>
<p>昔話伝承事業</p>	<p>智頭の昔話を保存し継承していくために、昔話に親しみ、関心を深めるよう事業を実施します。</p>	○	<p>*冬のおはなし会を「昔ばなしのへや」と題して毎年開催しています。鳥取市中嶋須美子氏と智頭町の赤堀澄江氏に昔話を語っていただきました。参加人数…12人 *音読教室や音読出前講座に、地域の昔話をテキストにして、参加者みんなで読</p>	<p>*音読教室や音読出前講座を通じて、大人への宣伝につとめました。今後は町内でいく必要がありません。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>新図書館建設事業</p>	<p>智頭図書館の現状から課題を把握し、住民の意見を反映した図書館の基本構想・基本計画を作成します。新しい図書館がすべての住民に親しんでもらえる「智恵と和の広がる図書館」となるよう新図書館整備を具体的に進めていきます。</p>	<p>◎</p>	<p>* みんなで考える「私たちの新しい図書館」第1回住民ワークショップ 8月5日開催 参加者 35名 傍聴者 16名 * 智頭図書館基本構想案へのパブリックコメント募集 10月3日～31日 意見141件 * みんなで考える「私たちの新しい図書館」第2回住民ワークショップ 12月3日開催 参加者 52名 傍聴者 8名 * 智頭図書館整備基本構想策定 12月 * 智頭図書館整備基本計画案へのパブリックコメント募集 2月1日～23日 意見38件 * 智頭図書館整備基本計画策定 3月 * 図書館アドバイザーとの協議 * プロジェクトチーム協議</p>	<p>* 智頭図書館整備基本構想と基本計画をもとに、智頭図書館設計業務における設計者選定をプロポーザル方式により行います。 * 住民がさらに図書館に親しみ、新しい図書館の利用へとつなげられるよう取り組みます。</p>

平成29年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成29年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性																								
<p>《学校給食事業》</p> <p>学校給食</p>	<p>学校給食は教育の一環であり、食生活、健康増進、地域活性化の理解など、生涯を通じて健康であり続けるための「食」の基礎を身につけます。</p>	<p>○</p>	<p>衛生管理に努め、栄養バランスのとれた、安全で安心なおいしい給食を提供しました。</p> <p>小学校 58,827食 中学校 27,694食</p> <p>*学校給食食材の県内産地産地消費率は2年連続83%となり、今後も高水準の維持を目指し、地元食材グループ、JAいば智頭支店と連携を密にしながら地産地消を推進します。</p> <table border="1"> <tr> <td>H24年度</td> <td>77%</td> <td>H25年度</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>68%</td> <td>H27年度</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>83%</td> <td>H29年度</td> <td>83%</td> </tr> </table> <p>*学校給食費の徴収を給食協議会と連携することで、未納はありませんでした。</p> <p>*栄養士食育活動により子どもたちへの食育指導は大幅に充実し、子どもだけでなく職員、保護者を含め給食時間、T・T授業、個別栄養相談、クラブ活動など学校全体で食への関心が高まってきました。</p> <table border="1"> <tr> <td>H24年度</td> <td>136回</td> <td>H25年度</td> <td>162回</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>123回</td> <td>H27年度</td> <td>128回</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>146回</td> <td>H29年度</td> <td>152回</td> </tr> </table> <p>*生産者と児童との交流給食の実施</p>	H24年度	77%	H25年度	73%	H26年度	68%	H27年度	85%	H28年度	83%	H29年度	83%	H24年度	136回	H25年度	162回	H26年度	123回	H27年度	128回	H28年度	146回	H29年度	152回	<p>*食材グループ、JAいば智頭支店の関係者に作付け予定品目と収穫時期などの調査を行い、地元食材の活用を行ったが、さらに品質の高い農作物生産に向けて、関係者との連携が必要であると考えます。</p>
H24年度	77%	H25年度	73%																									
H26年度	68%	H27年度	85%																									
H28年度	83%	H29年度	83%																									
H24年度	136回	H25年度	162回																									
H26年度	123回	H27年度	128回																									
H28年度	146回	H29年度	152回																									
<p>食育推進事業</p>	<p>学校給食センターが、町の食育推進の中核として食育の研究、住民への啓発を行ないます。</p>	<p>○</p>	<p>*学校給食週間（1月）に給食展を開催、住民への啓発を図りました。</p> <p>*児童生徒、家庭の食への関心、知識を高めるため食育を積極的に推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育日より「きゅうちゃん ぽこちゃん」の発行</li> <li>・きゅうちゃんの町ホームページ掲載</li> <li>・中学生ワクワクちづの受け入れ</li> <li>・おやつ料理教室の開催</li> <li>・八頭郡食育だより「すくうるらんち」の発行</li> <li>・小学校、中学校保護者試食会における栄養士の講話</li> <li>・我が家の自慢料理募集</li> </ul>	<p>*給食展等への理解、啓発も徐々に図られており、更に住民への浸透を図るよう検討を進めていきます。</p>																								

## 評価の基準

◎ (順調)	優れた取り組みや状況が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ (概ね順調)	よい取り組みや状況が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。
△ (やや順調でない)	課題がわずかながらあり、目標達成がやや順調でないもの、又は一定の成果はあったが新たな課題が生じたもの。
× (順調でない)	課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果がないなど、目標がほとんど達成できなかったもの。

### 3. 教育委員会の活動状況

#### (1) 教育委員の在任状況

(平成30年3月31日現在)

役職	氏名	在任期間	備考
教育長	長石彰祐	平成29年4月1日～平成32年3月31日	再任
教育長 職務 代行者	米井照世	平成26年10月1日～平成30年9月30日 教育長職務代行：任期 平成29年4月1日～	
委員	酒本弘道	平成29年10月1日～平成33年9月30日	再任
委員	平井早苗	平成28年10月1日～平成32年9月30日	再任
委員	徳永起宏	平成27年10月1日～平成31年9月30日	

#### 1) 教育長等の異動

- ・平成29年3月31日をもって長石彰祐教育長が任期満了になり、平成29年4月1日に選任（再任）されました。
- ・平成29年3月31日をもって酒本弘道委員長、米井照世委員長職務代行者が任期満了となり、平成29年4月1日に米井照世委員が教育長職務代行者に選任されました。

#### 2) 委員の異動

- ・平成29年9月30日をもって酒本弘道委員が任期満了となり、平成29年10月1日に選任（再任）されました。

(2) 教育委員会の会議の状況 (概要)

- ・教育委員会 定例会 12回
  - ・議案 30本 報告事項 49本 協議 4本
  
- ・学校・保育園訪問 6回
  - ・定例委員会と同日実施
  
- ・委員研修会 2回
  - ・鳥取県市町村教育委員会委員研修会 倉吉市
  - ・鳥取県東部地区市町教育委員会研究協議会 鳥取市
  
- ・その他
  - ・保育園、小学校、中学校入学卒業式
  - ・智頭教育会出席
  - ・智頭町保小中高PTA連合会との意見交換会
  - ・各小中学校および各地区公民館運動会の視察 他



#### 4. 付属機関の開催状況

##### 教育委員会付属機関会議の開催状況

・ 智頭町社会教育委員会	1 回
・ 智頭町文化財保護審議会	0 回
・ 智頭町伝統的建造物群保存地区保存審議会	0 回
・ 智頭町スポーツ推進委員協議会	12 回
・ 智頭町青少年育成指導員協議会	6 回
・ 智頭町立智頭図書館協議会	2 回
・ 智頭町子ども読書活動推進計画策定委員会	3 回
・ 智頭町学校給食センター運営委員会	1 回

資 料 編

(資料)

平成29年度教育委員会の会議の状況(詳細)

4月定例委員会(4月12日)

議案(4)

- ・ 早期支援コーディネーターの委嘱について
- ・ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- ・ 智頭町立小・中学校主任等の任命について
- ・ 智頭町スポーツ推進委員の任命について

報告(5)

- ・ 平成29年度当初予算主要事業について
- ・ 学校教育について
- ・ 次世代育成事業について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について

5月定例委員会(5月15日)

議案(2)

- ・ スクールソーシャルワーカーの委嘱について
- ・ 平成29年度準要保護児童生徒の追加認定について

報告(4)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について
- ・ 智頭町子どもの居場所づくり支援事業について

6月定例委員会(6月13日)

議案(4)

- ・ 智頭町児童通園費補助金交付要綱の一部改正について
- ・ 智頭町延長保育事業実施要綱の一部改正について
- ・ 智頭町病児・病後児保育実施要綱の一部改正について
- ・ 智頭町子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱の一部改正について

報告(4)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について
- ・ 6月議会一般質問について

7月定例委員会（7月27日）

議案（3）

- ・ 平成30年度における特別支援学級（肢体不自由）で使用する小学校教科用図書採択について
- ・ 平成30年度使用小学校道徳教科用図書の採択について
- ・ 平成29年度準要保護児童生徒の追加認定について

報告（3）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について

8月定例委員会（8月24日）

議案（0）

報告（5）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 教育委員会執行事務の点検と評価について
- ・ 図書館について
- ・ 新図書館建設事業について

9月定例委員会（9月22日）

議案（0）

報告（5）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 新図書館建設事業について
- ・ 9月議会一般質問について

10月定例委員会（10月24日）

議案（0）

報告（3）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について

1 1 月定例委員会（1 1 月 1 5 日）

議案（5）

- ・ 平成 2 9 年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 八頭郡就学指導推進協議会規約の一部改正について
- ・ 智頭町教育委員会の職場におけるハラスメントの防止等に関する要綱の制定について
- ・ 智頭町立小・中学校管理規則の改正について
- ・ 智頭町立学校職員の服務に関する規程の改正について

報告（5）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 智頭の林業景観の重要文化的景観の選定について
- ・ 図書館事業について
- ・ 新図書館建設事業について

協議（2）

- ・ 総合教育会議について
- ・ 教育を語る会について

1 2 月定例会（1 2 月 1 8 日）

議案（0）

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 新図書館建設事業について

1 月定例委員会（1 月 2 6 日）

議案（2）

- ・ 智頭町文化財保護条例の一部改正について
- ・ 智頭町文化財保護事業補助金交付要綱の一部改正について

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 平成 3 0 年度当初予算要求概要について

2月定例委員会（2月21日）

議案（5）

- ・ 智頭町児童生徒通学費補助金交付要綱の改正について
- ・ 智頭町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について
- ・ 平成30年度準要保護児童生徒の認定について
- ・ 平成29年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 平成29年度智頭町教育委員会表彰について

報告（3）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について

協議（1）

- ・ 智頭町教育大綱について

3月定例委員会（3月13日）

議案（5）

- ・ 県費負担教職員の勤務時間の特例に関する取扱要領の制定について
- ・ 智頭町就学援助費事務取扱要領の一部改正について
- ・ 平成30年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 平成30年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- ・ 平成29年度末教職員人事異動について

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 新図書館建設事業について

協議（1）

- ・ 智頭町教育大綱について

(資料)

## 教育委員会事務局主管の委員会の開催状況 (詳細)

### \* 智頭町社会教育委員会 (1回)

開 催 平成30年2月27日

議 題 議長副議長選出

国選定 重要文化的景観「智頭の林業景観」について

### \* 智頭町スポーツ推進委員協議会 (12回)

開 催 平成29年 4/11、5/10、5/31、7/5、8/2、9/6、10/4、11/8、12/6

平成30年 1/10、2/7、3/7

議 題 ・各種事業打合せ及び事後協議

### \* 智頭町青少年育成指導員協議会 (6回)

開 催 平成29年 6/9、7/11、9/8、10/31、11/20

平成30年 1/7

議 題 ・各種事業打合せ及び事後協議

### \* 智頭町立智頭図書館協議会 (2回)

開 催 平成29年6月8日 (木)

説 明 平成29年度智頭町立智頭図書館事業について

新図書館建設計画について

議 事 智頭町の図書館サービスについて

開 催 平成30年3月13日 (火)

議 事 平成29年度図書館事業報告について

新図書館整備基本計画について

平成30年度図書館事業について

\*智頭町子ども読書活動推進計画策定委員会（3回）

開 催 平成29年7月11日（火）

議 事 子ども読書活動に関するアンケートの実施について  
計画改定（案）の検討

開 催 平成29年10月3日（火）

議 事 子ども読書活動に関するアンケートの実施結果について  
計画改定（案）の検討

開 催 平成30年1月30日（火）

議 事 第2次智頭町子ども読書活動推進計画（案）について

\*智頭町学校給食センター運営委員会（1回）

開 催 平成30年3月29日

議 題 役員の選出について

平成29年度学校給食の実施状況について

平成30年度学校給食費及び食数について